



日本製鉄のタイ事業展開

2025年11月28日

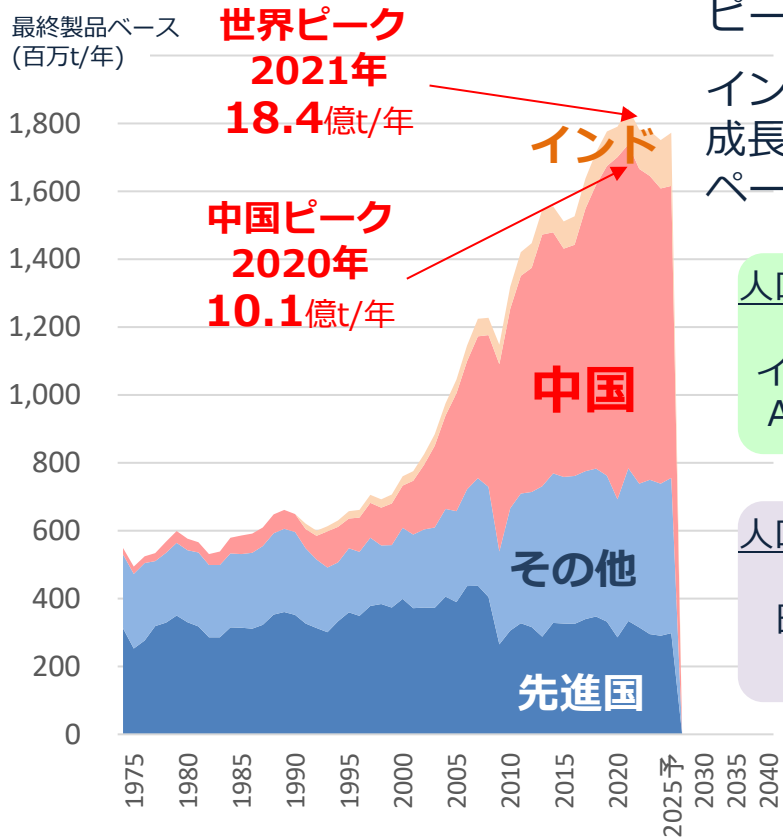
日本製鉄株式会社

常務執行役員 小川 英樹

世界鉄鋼需要

世界の鉄鋼需要は
2021年をピークに、横ばい～微減

世界鉄鋼需要



中国は2020年を
ピークに減少

インドは着実に
成長するが
ペースは緩やか

人口ボーナス国

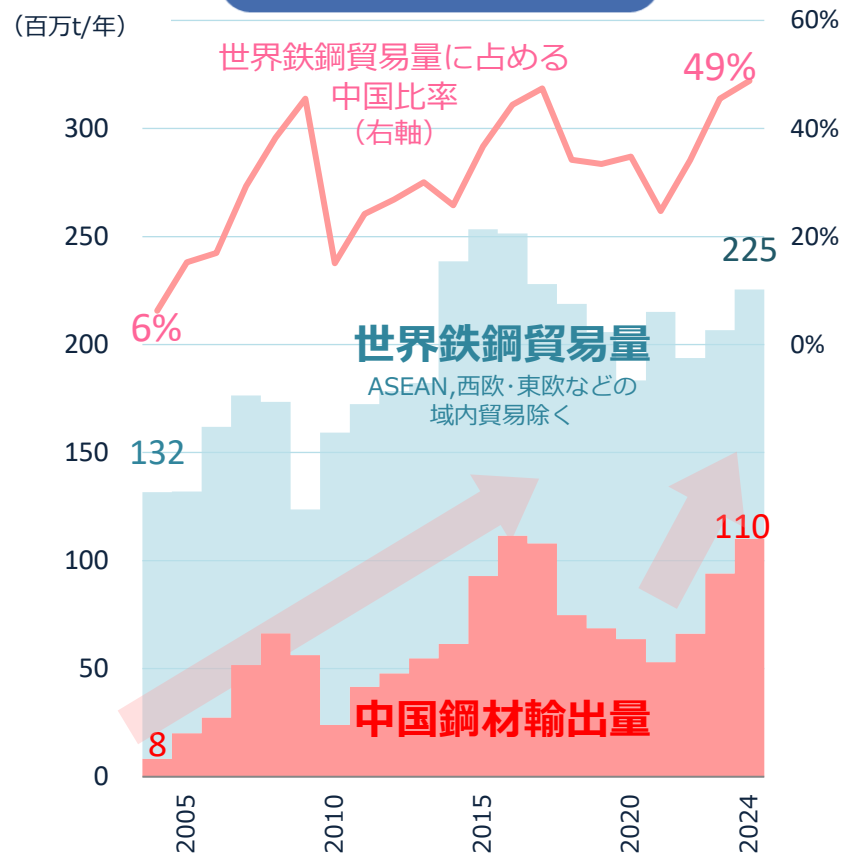
インド、米国
ASEAN、豪

人口オーナス国

日本、中国
西欧

世界の鉄鋼貿易量が概ね2億t/年水準で
推移するなか、中国からの輸出が急増

中国 鋼材輸出



中国の新規投資等により
世界鉄鋼業の過剰能力が拡大

2016 2020 2024 2027想定

+8
億 t

+5
億 t

+6.2
億 t

+7.2
億 t

出典：2025.4 OECD 鉄鋼委員会

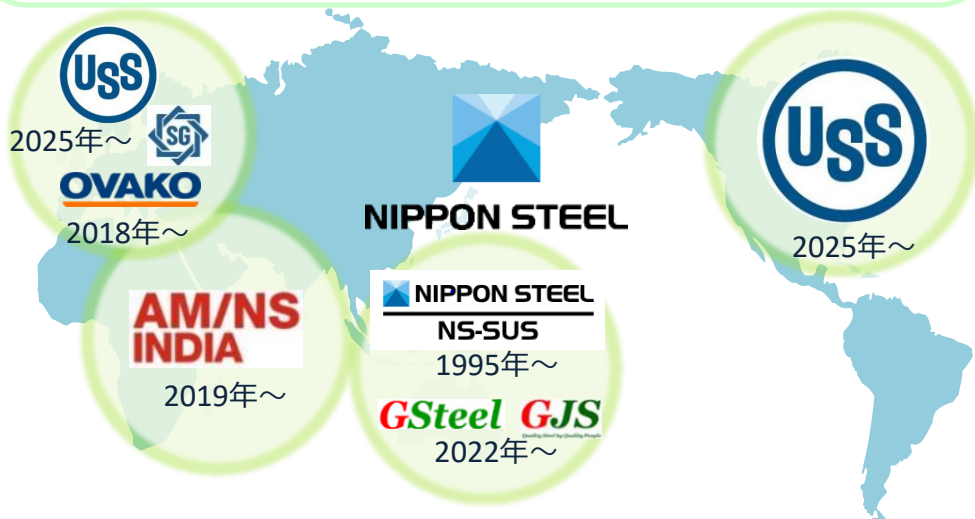
日本製鉄 グローバル製鉄事業展開

グローバル事業拡充方針

重点地域 = 「米国・欧州」「インド」「タイ」
 において鉄源一貫生産を拡大

最大の高級鋼市場である米国・欧州

商品対応力を強化しシェアを拡大
 新製鉄所建設



成長する インド

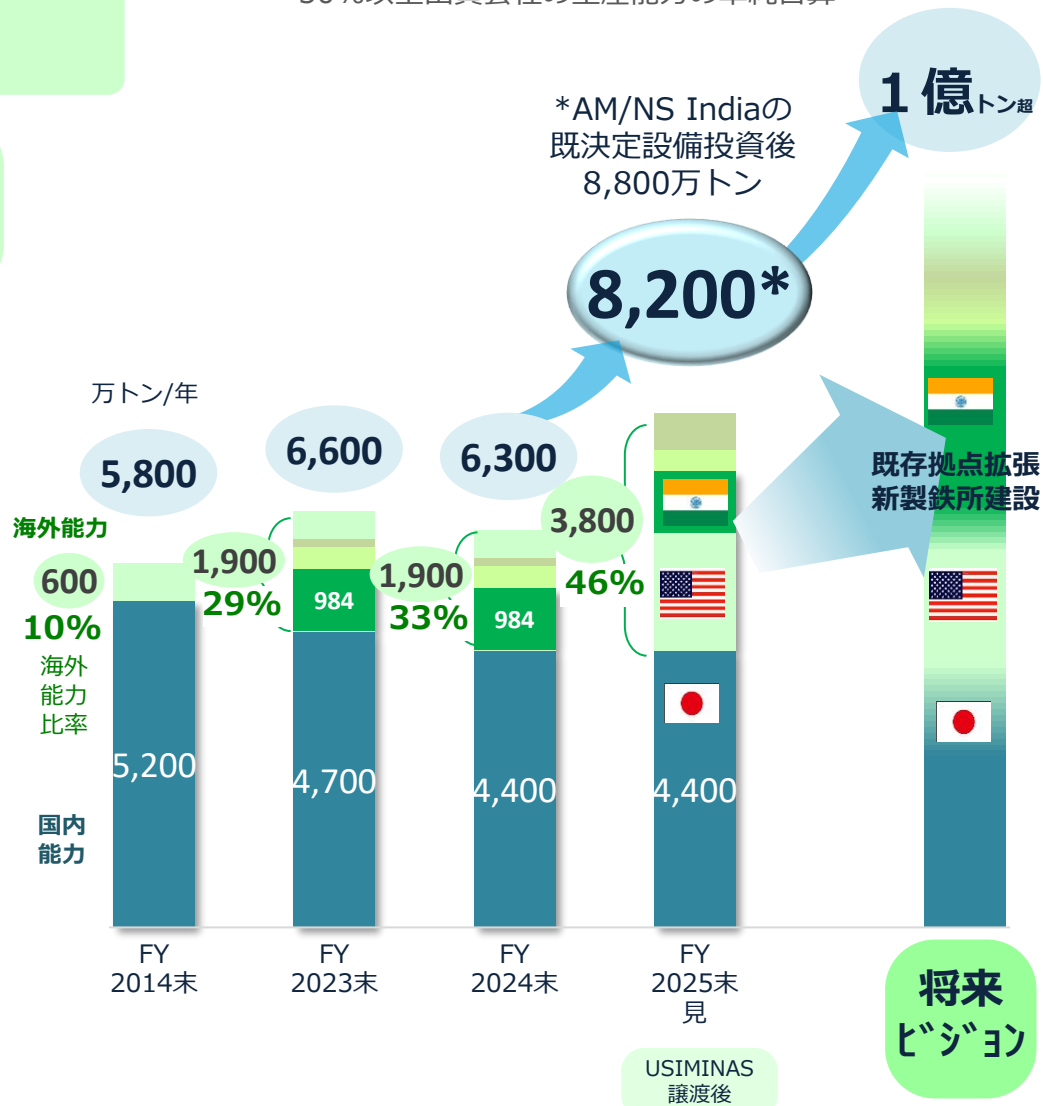
ハジラー一貫能力拡大
 東部新製鉄所建設 等

ホームマーケット タイ

タイ薄板市場シェア拡大
 30%→50% 等

グローバル粗鋼生産能力

30%以上出資会社の生産能力の単純合算



日本製鉄グループ タイ事業拠点

操業開始年

1963 年

NIPPON STEEL Pipe (Thailand)
(旧 Thai Steel Pipe)が操業開始

会社数

30 社

製鋼、商社、コイルセンター、物流、など

従業員数

約 8000 人

売上高

約 1230 億 THB
(2023FY)

総投資額
(～ 2023年)

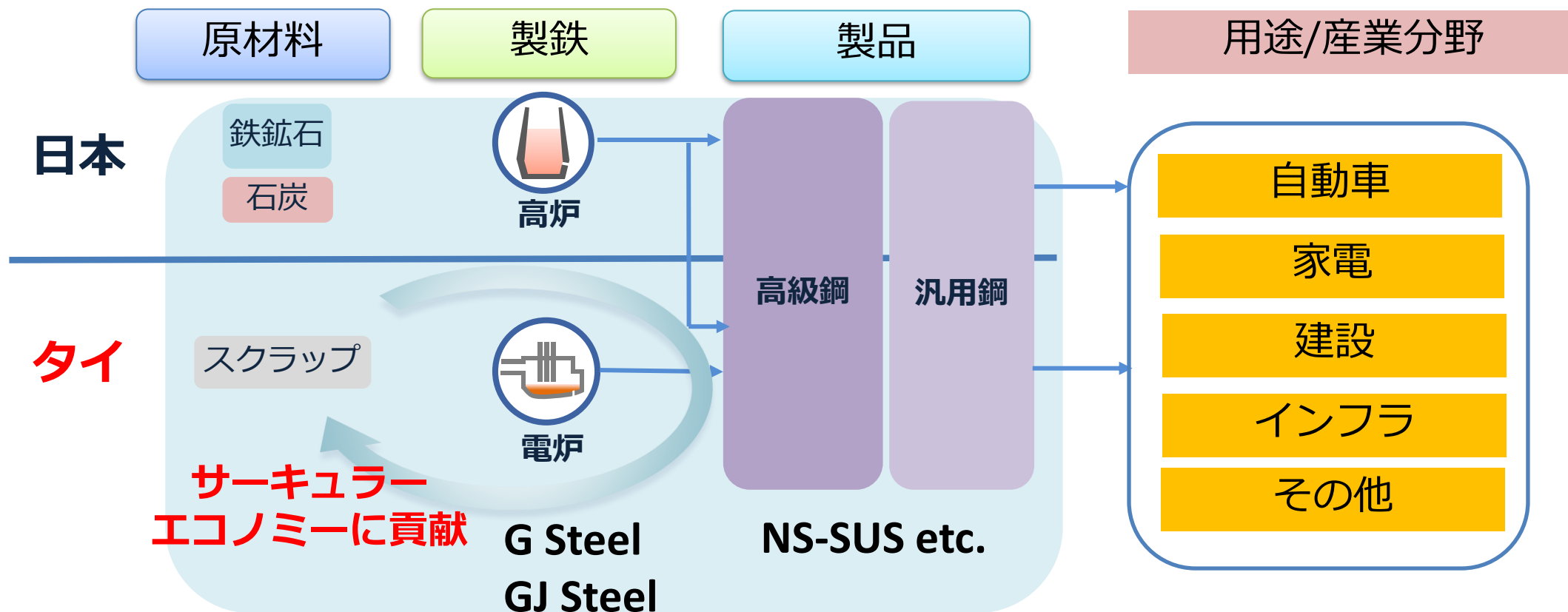
約 490 億 THB

日本製鉄グループ タイ事業会社一覧

会社名	事業内容	投資開始年	従業員
NS-SUS	薄板	1988	1,542
G.GJ Steel	電炉	2022	1,410
NSBST	薄板	2013	461
NSPT	鋼管	1963	828
NSSPT	棒線	1997	280
NS TSLX	鋼材加工	1990	143
NSTTH	商社	1977	56
TNS	エンジニアリング	1987	737
他21社	その他		2,134
合計	30社		7,591

タイにおける日本製鉄の供給体制（薄板）

鉄源(電炉)～最終製品までの一貫生産体制を保有
高級鋼を求める需要家に対しては、日本からの原板輸入により製品を供給



なぜタイを選ぶのか

タイのアドバンテージ

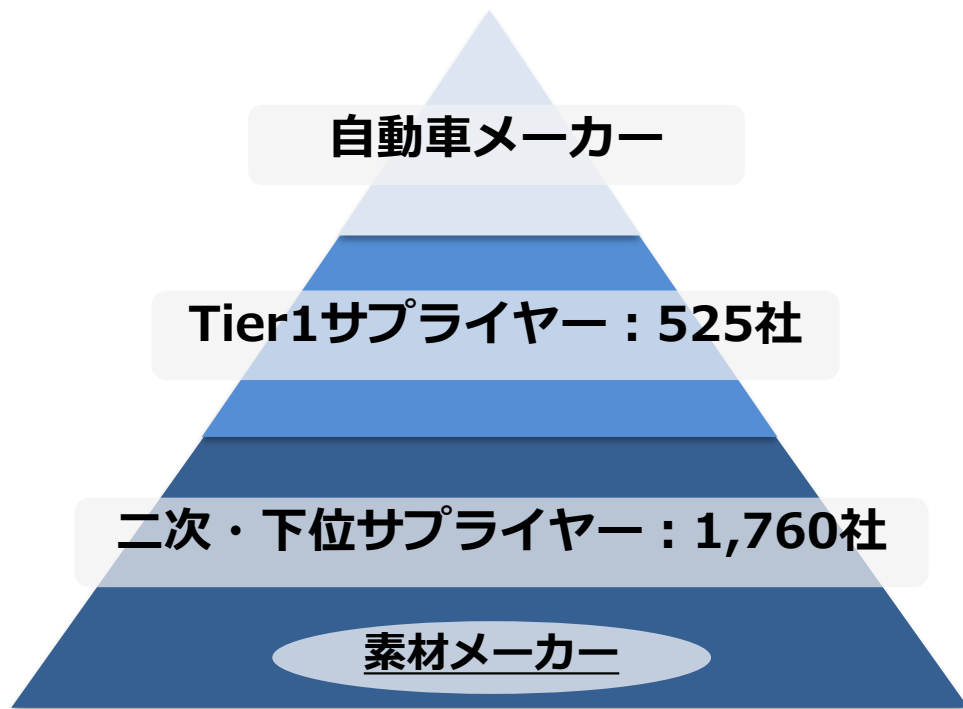
- ▶ 高い産業集積度
～素材から最終製品までのサプライチェーン
- ▶ 一貫性ある産業政策
～投資優遇制度
国内サプライチェーンへのリスクの排除
- ▶ 地政学的な中立性
+ 高いローカルコンテンツ（自国産比率）



高い産業集積度 ～素材から最終製品までのサプライチェーン

タイ国内の強固なサプライチェーンが、タイの製造業を支え、
タイのGDP拡大、貿易収支の改善、雇用創出等に貢献。

〈自動車産業の例〉
統合型サプライチェーンを構築



出典：Thai Automotive Institute

高集積サプライチェーンが輸出を牽引

国名	財・サービスの輸出 (billion US\$) <2022CY>	製造品の輸出比率 (商品輸出に対する%) <2022CY>
タイ	324	73%
ベトナム	385	85%
ミャンマー	22	44%
ラオス	9	33%

出典：World Development Indicators
(World Bank Group)

一貫性ある産業政策 ～投資優遇制度（1）

国内及び海外からの投資を促進すべく、タイ投資委員会(BOI)を設置

【投資誘致に向けた諸施策】

- 法人税免除/減税や輸入関税免除などの税制優遇 (※)いずれも規定要件あり
- 外国人出資比率制限緩和、ビザ手続き簡素化等、非税制面でも事業をサポート

BOIの5カ年投資促進戦略 (2023～2027年) 投資促進方針

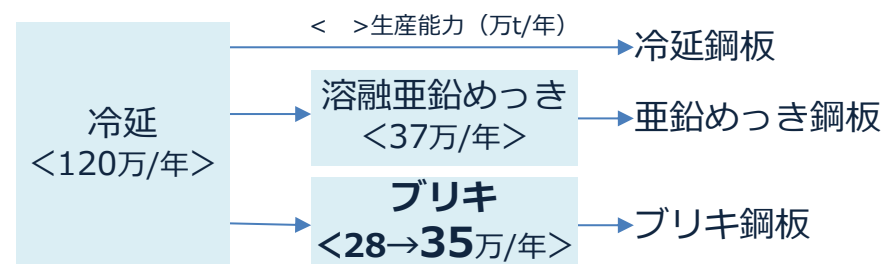
- 1) 既存産業の高度化、新産業基盤の構築、並びにサプライチェーンの強化
- 2) スマート化・サステナブル化へ向けた産業の転換
- 3) タイを国際ビジネス・貿易・投資のハブとして強化
- 4) 中小企業 (SMEs) /スタートアップ (Startup) の競争力強化
- 5) タイ国内各地域のポテンシャルに応じた投資を奨励し、包括的な成長を実現
- 6) コミュニティと社会の開発を奨励
- 7) 競争力のあるタイ企業の海外投資を促進し、ビジネスチャンスを拡大

一貫性ある産業政策 ～投資優遇制度（2）

日本製鉄グループにおける、BOI恩典の直近活用例（審査中）

NS-SUSにおけるブリキ生産能力拡張投資（2025年公表）

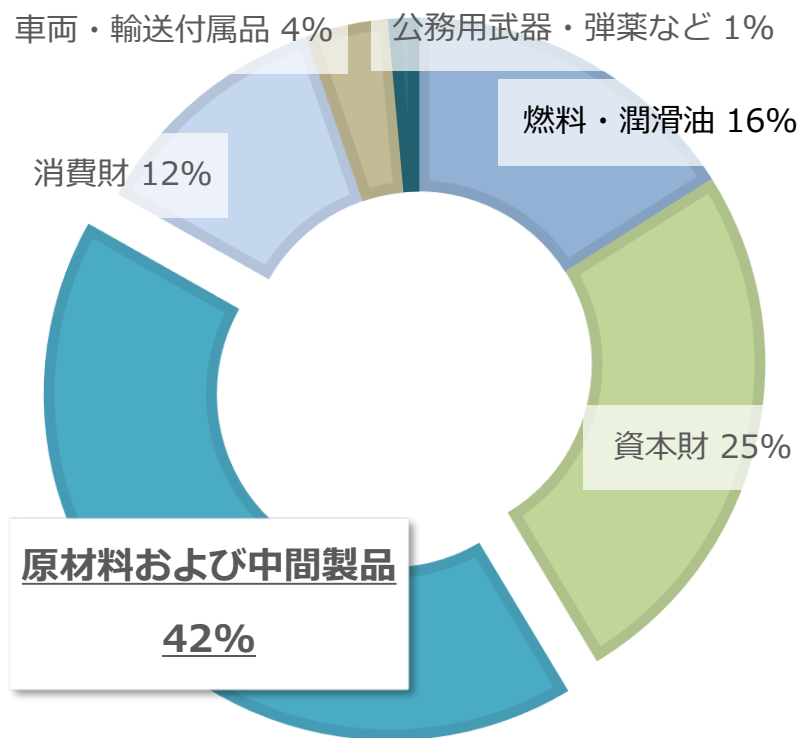
投資額 : 約20億バーツ（約89億円）
 ブリキ鋼板 : +7万t/年（28⇒35万 t /年）
 生産能力 : 既存設備の通板速度向上により能力向上
 完工 : 2027年3月（予定）



- 設備投資に関わる機械輸入税の免除
- 設備稼働から3年間、投資額50%(土地・運転資金除く)を上限に法人税免除/減税 (※) グローバルミニマム課税(15%)との整合について考慮要

タイ鉄鋼産業の課題・リスク ～輸入鋼材の増加

原材料および中間製品の輸入に依存



<輸入総額>

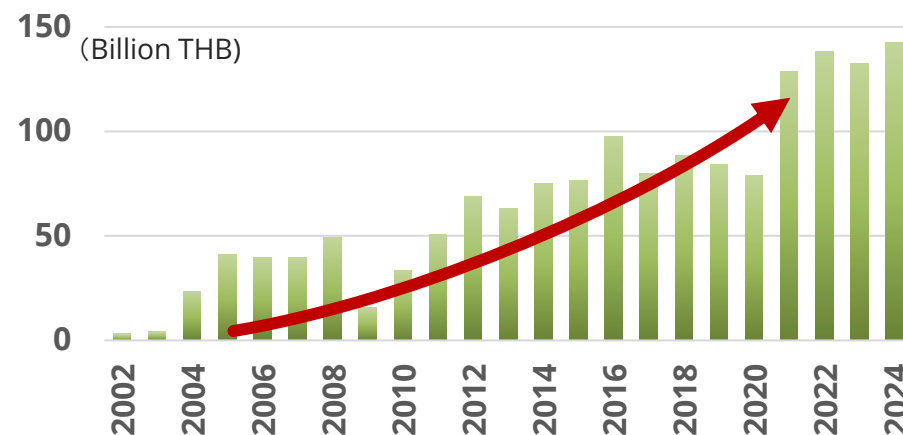
10,851 Billion THB (2024年)

中国に対する貿易赤字は拡大 鉄鋼輸入量も増加

輸出-輸入 Gap (Billion THB)	2022	2023	2024
総額	-613	-240	-295
うち 中国	-1,295	-1,297	-1,619

貿易赤字

中国からの鉄鋼輸入額



出典: Ministry of Commerce

通商措置 ～タイ国内サプライチェーンへのリスクの排除

タイ国内サプライチェーンの一翼を担う素材（鉄鋼製品）に対するリスクを排除すべく、不当廉売の輸入品に対する通商措置を発動

- 熱延鋼板（普通/合金/ボロン鋼）、GI（溶融亜鉛めっき鋼板）にAD（反ダンピング）/AC（反迂回）措置を決定。
- 熱延幅広材や三元系（Al-Mg-Zn）GIなど、上記措置に対する迂回輸入に対する調査も開始。

<熱延>

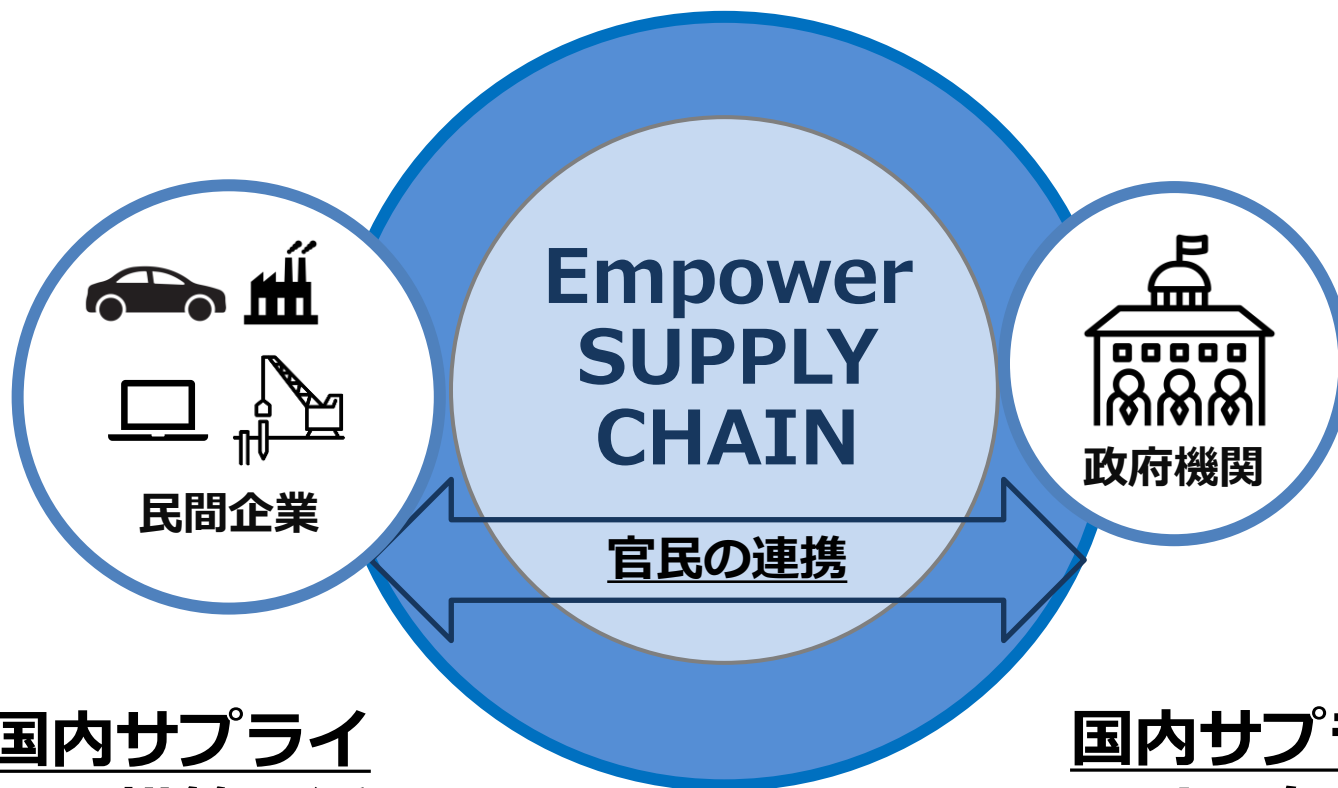
年	カテゴリー	ステータス	対象国	申請者	関税率
2023	熱延鋼板(普通鋼)	AD措置(延長決定)	中国、マレーシア	G/GJ, SSI他	23.57~42.51%
2024	熱延鋼板(合金鋼)	AC措置	中国	G/GJ, SSI他	30.91%
2025	熱延鋼板(ボロン鋼)	AD措置(延長決定)	中国	SSI	14.28~19.47%
2025	熱延鋼板(幅広材)	11月 AC調査開始	中国	G/GJ, SSI他	調査中

<冷延、めっき、ブリキ>

年	カテゴリー	ステータス	対象国	申請者	関税率
2023	ブリキ	AD措置	中国、韓国、台湾、EU	NS-SUS, TTP	2.45~22.67%
	めっき無しブリキ(Tin free steel)	AD措置	中国、韓国、EU	NS-SUS, TTP	4.53~24.73%
2021	GI(溶融亜鉛めっき鋼板)	AD措置	中国	現地メーカー	3.05~37.54%
2025	三元系GI	10月 AC調査開始	中国	現地製品協会	調査中

官民の連携 ～政府の支援

- ・ 投資優遇制度を通じて産業発展を継続的に支援・促進
- ・ 国内サプライチェーンに対するリスクを官民が連携して排除



強固な国内サプライ
チェーンの構築、活用

国内サプライチェーンへ
のリスクの排除

製造業における直近の進出例

タイの高い産業集積度、一貫性ある産業政策、地政学的な中立性+高いローカルコンテンツ（自国産比率）を得られる、等のアドバンテージを生かすべく、グローバル生産・輸出拠点としてタイへ進出

➤ BYD

- ・ ラヨン県に工場新設。2024年7月稼働
- ・ **同社にとって東南アジア初のEV工場**
- ・ 生産能力：15万台/年
- ・ 投資額：約4億9千万ドル

➤ Haier

- ・ チョンブリ県にエアコン生産用の工場新設。2025年9月稼働
- ・ 生産能力：**段階的な能力増強**を目指す

2025年 300万台、2026年350万台、2027年600万台(※)

(※) 以前より保有する冷蔵庫や洗濯機の生産工場の生産能力は除く

- ・ 投資額：約2億7千万ドル

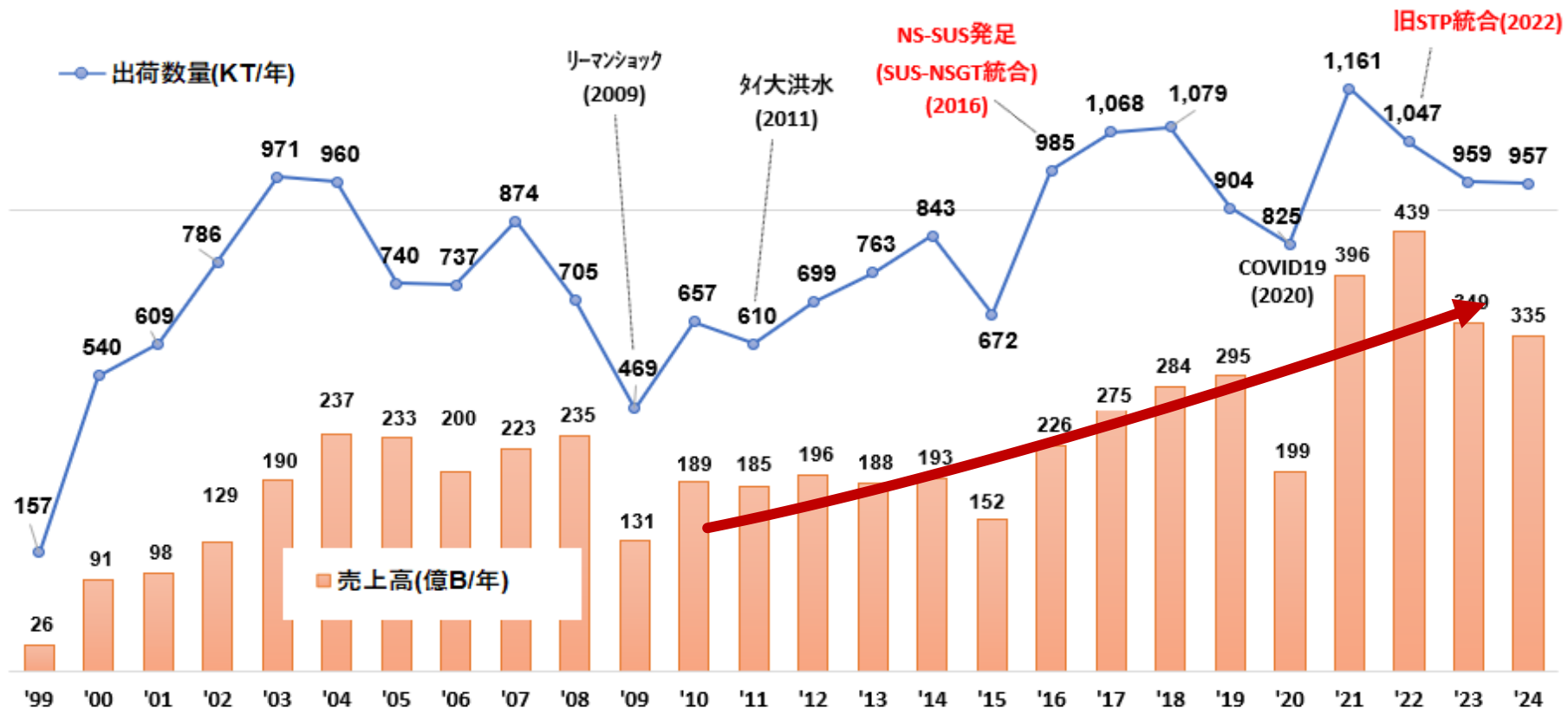
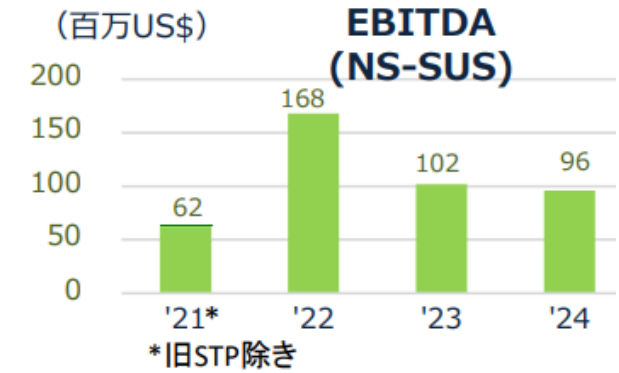
日本製鉄 タイ事業に対する評価

【NS-SUSの例】

売上高は長期的に上昇傾向

EBITDAは直近100百万USDレベルで安定

⇒長期的視点で成長を実現



タイの会社として～

会社は「家族」
家族として、Vision、Mission、
Core Value を共有

【NS-SUSの例】

➤ **VISION:**

社会・人々に貢献し、社内外全てのステークホルダーの幸福を追求

➤ **MISSION:**

先進技術とイノベーションを通じて、人々のより良い生活に必要とされる鉄を作る、リーディングカンパニーとなる

Steel for Life

➤ **CORE VALUE: CARES**

Collaboration(共働)、Agility(柔軟性)、
Respect(尊重)、Ethics(尊重)、Safety(安全)



タイの会社として～

TPM活動（※）、CSR活動、DX推進、PR活動などタイスタッフ主導で推進。価値観を共有化し、社員各位のポテンシャルをフル発揮。

（※）Total Productive Maintenance / Management

【NS-SUS 受賞・活動の実績】（例）

- **タイ国総理大臣産業賞受賞**（2000～24年で11回）
- Global KAIZEN Award 2024にて世界**第3位**を獲得
- TPM活動にてタイ鉄鋼企業として初めて「**ワールドクラス賞**」を受賞（2020年）
- 本社工場（Rayong）周辺地域等でのCSR活動
- PR活動（YouTube出演、TikTok活用等）



**タイ人・日本人の各々のマインドセットに対する相互理解を
基盤として、会社としてのポテンシャルを最大限引き出す**

